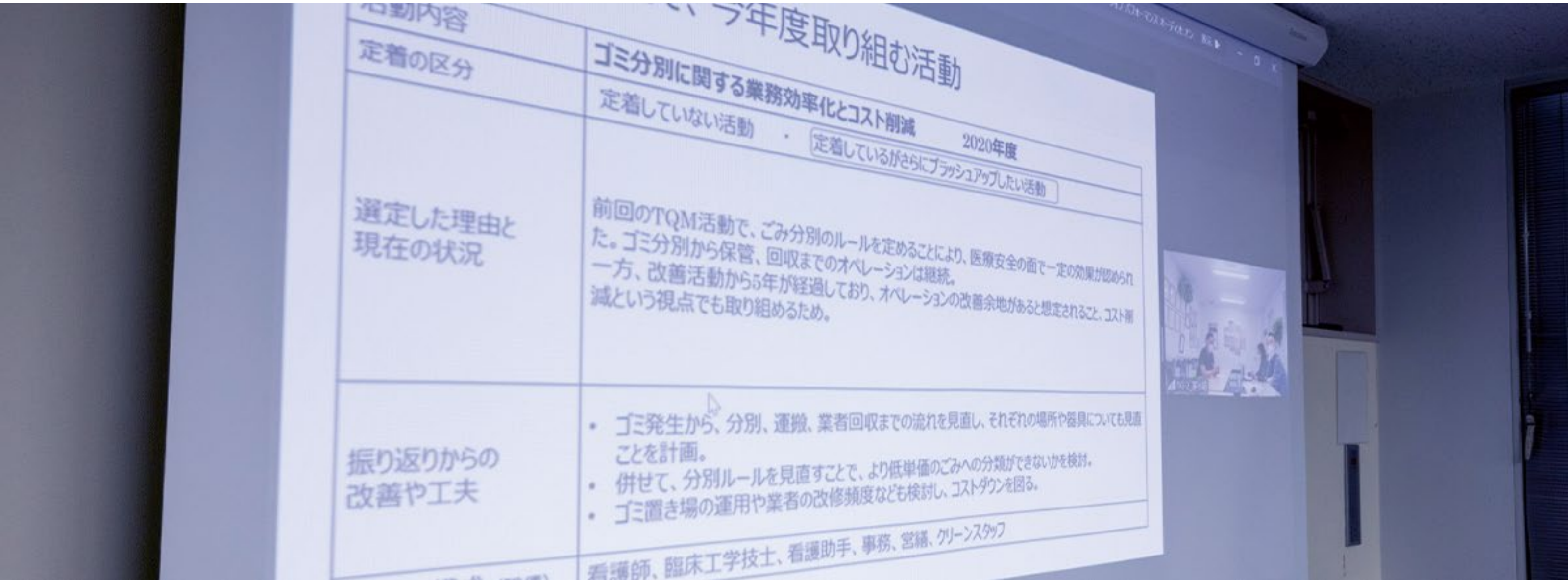


これまでのTQM活動の振り返りを実施しました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2025年10月11日(土)、健育会がこれまで20年間で取り組んできたTQM活動の振り返りをWeb会議方式で実施しました。今まで取り組んできたTQM活動が実際に現場で定着しているのかどうか、各施設で振り返りを行った内容を発表しディスカッションを行いました。

そもそもTQM（Total Quality Management）活動とは、組織の活動での質の維持・向上をはかるための考え方・取り組み方・仕組み等のことをいいます。その「質」が悪いのは、プロセスのどこかに問題がある、つまり「質」はプロセスを改善することで上げるという考え方です。

今年で第20回目を迎えた健育会の「TQM活動発表セミナー」も、日々の業務を継続的に改善するための取り組みです。これまでの活動期間の中で、TQM活動が現場に根付き、業務の改善効果や医療の質の向上を生んだ成功事例が定着している一方で、定着しなかった取り組みもあります。

そこで、今年度は、今までの取り組みを振り返り、「定着している活動」「定着していない活動」に分けて、その要因分析を行い、定着しているがさらにブラッシュアップしたいものと、定着していないので方法を変えて再チャレンジするものに分けて取り組むことにしました。

2025年TQM活動の振り返り

病院名	振り返った TQM活動数	活動年
竹川病院	45	2014年～
熱川温泉病院	20	2020年～
西伊豆健育会病院	67	2011年～
石巻健育会病院	48	2011年～
いわき湯本病院	33	2007年～
花川病院	61	2009年～
茅ヶ崎セントラルクリニック	12	2013年～
ねりま健育会病院	20	2018年～
湘南慶育病院	17	2019年～
石川島記念病院	8	2015年～

施設名	振り返った TQM活動数	活動年
ライフケアガーデン熱川	18	2008年～
ライフケアガーデン湘南	6	2020年～
介護老人保健施設しおさい	35	2011年～
ケアポート板橋	91	2008年～
ケアセンターけやき	28	2008年～
ひまわり在宅サポートグループ	5	2019年～
喬成会介護事業部	58	2011年～
介護老人保健施設しおん	20	2012年～
ライフサポートひなた	15	2017年～
ライフサポートねりま	15	2019年～



今回の振り返りの中で2つ事例を挙げると、「定着している活動」としては、茅ヶ崎セントラルクリニックでは2020年度に取り組んだ「ゴミ分別に関する業務効率化とコスト削減」を今年度も取り組むテーマとして、分析、発表してもらいました。定着したポイントとして、職員に分かりやすい表示をすること、効果が出たら職員にすぐにフィードバックすること、という非常にシンプルなこと等を挙げてました。

また、「定着していない活動」としては、花川病院では2017年度に取り組んだ「入院時評価時間の短縮化に向けた取り組み」を今年度も取り組むテーマとして分析、発表してもらいました。こちらは、定着しなかったポイントとして、歯止めと標準化の内容に深く踏み込めなかったため標準化ができず継続する仕組みにできなかったこと、また、コロナ禍の期間に入院の流れが変わってしまったこと等を挙げていました。

質疑応答では、同様の取り組みを行っている病院・施設から、具体的な対策やアドバイスが寄せられたり、「ノーリフトケア」や「眠りSCAN」に関する情報共有や、入院・来院時の待機時間短縮のための予約システム導入提案など、各病院・施設に共通する課題についての意見交換も活発に行われました。

加えて、手法上にある標準化と管理の定着が弱かったこともわかりました。TQM活動の成果や改善されたプロセスを現場に根付かせるためには、定期的な見直しが重要で、人員異動があっても活動を持続できるマニュアル作成、TQM推進者の引き継ぎや教育システム、TQM活動委員会の強化が重要であることを皆が再認識しました。

TQM活動として取り組むべきか曖昧な課題に対し、そのテーマが業務の質を上げる全員参加型の活動であるかを改めて見直すきっかけとなる場面も見られ、Our Teamとしての意識が高まるディスカッションが行われました。



発表の最後に、大西証史顧問より全体の講評が行われました。



本日は活発な質疑、意見交換が行われ、非常に良い振り返りになったと思います。長年にわたり、これほど多くのテーマに取り組んでいる健育会グループの活動は非常に素晴らしいものです。

活動が定着している、または定着していない場合の要因分析と、それを踏まえた今後の新たな課題への取り組み方がよく考えられていたと感じます。振り返りの中で新たな気づきが生まれたり、テクノロジーの進歩に伴う改善を検討している発表もあり、大変良かったと思います。

「ノーリフトケア」や「眠りSCAN」、「aams」の活用、入院時の待ち時間の効率化、予約システムの導入といったテーマは、複数の病院・施設に共通する課題として再認識する良い機会になりました。発表で明言された課題については、TQM活動テーマに関わらず積極的に取り組んで欲しいと思います。

今日の発表や質疑応答を踏まえ、来年の「TQM活動発表セミナー」に向けてしっかり推進してください。貴重な時間をかけた活動が無駄にしないよう、強い意識を持って「定着した」TQM活動の実現に励むことを期待しています。